

長崎人がそれぞれの“スキ”を発信!!

ながさき ラバース 長崎 サンドイッチ LOVERS

今月のLOVERS

内田 壮一さん



Q1. なぜ長崎“サンドイッチ”ラバースなんですか？

17歳のとき、喫茶店で初めてフルーツサンドイッチを食べたから、サンドイッチの虜になったんです。それから50年以上経った今でも、週1回は、必ずサンドイッチを作って食べるくらいなんです。こんなにおいしい食べ物を、もっと多くの人にも味わってほしいと思って、喫茶店を開ききっかけにもなりました。

Q2. 「サンドイッチ」の魅力は？

なんといっても、自分の好きなものをなんでも組み

合せて、はさめるところですかね。「今日はどんな食材をはさんで食べようか」と考えている瞬間がとても幸せです。ハムと卵と野菜が一番のオススメで、喫茶店のメニューにもなっているので、ぜひ食べてほしいです。そして、具材だけではなくて、パンにもこだわっています。サンドイッチ用のパンは仕入れたあと、一日寝かせることで、ほどよい食感になるんですよ。

Q3. 今後、どのように広めたい？

長崎ならではの、肉や魚、野菜などの食材をサンドイッチにはさんで、PRしていきたいですね。私が“サンドイッチラバース”になったきっかけの、フルーツサンドイッチも以前はメニューに載せていたので、それを復活させたいです。びわを始めとした季節のフルーツサンドイッチなんかもいいなと思っています。みなさんにも、何通りもある組み合わせの中から自分好みのサンドイッチを見つけてほしいです。



あなたもLOVERSになろう！詳しくは公式サイトをチェック



フェイスブック @nagasaki lovers



インスタグラム @nagasaki lovers



ホームページ 長崎LOVERS

働き盛りの長崎人をクローズアップ!!

はたらきびと 輝く働き人

株式会社 PAL構造 さいぎょう たけし
西行 健さん



各種建造物の設計や構造解析コンサルティング、ソフトウェアの開発・販売、環境共生技術の研究開発など幅広く事業を展開しています。今回は入社7年目の西行さんを紹介します。

Q1. この会社に就職したきっかけは？

私は福岡県出身で、長崎の大学を卒業後県外で働いていましたが、妻から長崎に戻って暮らしたいと言われたのがきっかけで、大学や前職での経験が生かせる企業を探していて目にとまったのがこの会社です。建築物以外の建造物に関してもさまざまな取り組みを行っている、自身のスキルアップも期待できると考え決めました。

Q2. どんな仕事をしていますか？

第一構造設計部で橋梁の部門を担当し、橋梁の点検・診断、解析や補強設計といった耐震補強の検討などを行っています。

Q3. 苦労ややりがい、印象深いエピソードは？

約2年半前、ある会社の1本の電話から橋梁の耐震補強などの業務を本格的に始めることになったのですが、当時社内にはノウハウや知見がほとんど無く、専門書や工事



の基準類などを調べながら事業を進めました。さらに、業務量が多いため応援に来てもらった他部署のスタッフに教えながら業務を遂行しなければならず大変でした。

業務を行う上で、あらゆることを調べ、熟考するうちに自身の知識や構造設計などに関する能力の向上がふと感じられる、そんな時にやりがいや達成感のようなものを感じます。教えるのが好きなこともあり、習得した知識や能力を後輩や部下などの業務遂行に役立てられるのは嬉しいです。

Q4. 今後の目標は？

今後もメンバー全員の能力が向上するようなチーム作りを行い、現在実施している業務を行いつつ、業務範囲を拡大していきたいと思っています。個人的には技術士の資格(称号)を取得したいと考えています。



「長崎キラリ☆カンパニー」

長崎のキラリ輝く地元企業を、長崎ケーブルメディアの「なんでんカフェ」の放送でも紹介しています。

